

# 「住田町総合計画に関する住民懇談会」概要

## 1 開催概要

目 的	総合計画及び各施策への理解促進並びに意見交換
開 催 日	令和7年10月7日(火), 9日(木), 10日(金), 14日(火), 15日(水)
時 間	午後7時～午後8時30分
会 場	・五葉地区公民館(7日) ・上有住地区公民館(9日) ・下有住地区公民館(10日) ・大股地区公民館(14日) ・住田町役場(15日)
出 席 者	神田町長、小向副町長、松高教育長 横澤総務課長、高萩企画財政課長、鈴木住民税務課長、千葉保健福祉課長、菊田農政商工課長、佐々木林政課長、佐々木建設課長、多田教育次長
進 行	開会 → 町長挨拶 → 総合計画の概要説明(企画財政課) → 各課等の重要施策説明(各課等) → 質疑・意見交換 → 閉会
資 料	・配布… 総合計画概要版 ・投影… 総合計画抜粋及び各課重要施策の説明用スライド

## 2 会場別概要(質疑応答)

### 〈1〉五葉地区公民館(10月7日(火))

来 場 者 数	7名(男性6,女性1)
主なやり取り	<p>○クマが民家付近に出没した際、ハンターを呼んだが、保健所の許可がなければ対応できないと言われた。役場の閉庁日や閉庁時間の通報はどうしたらよいか。</p> <p>→ 休みであっても林政課職員が対応するので連絡されたい。対応は、まずは追い払いを行う。それでも出没するなら、保健所の許可を受けわなを設置。(林政課長)</p> <p>○緊急銃猟を行えるのはいつからか。</p> <p>→ 制度上は9月からだが、ハンターの技術面、メンタル面を考慮するとすぐには難しい。人身事故を起こさないためにも、クマを寄せ付けない環境づくりにご協力いただきたい。(林政課長)</p> <p>○環境省職員によると、クマの数は増えているとの調査結果が出ているが、保護団体から強い圧力がかかり捕獲が進まないとのこと。人に危害を加えるものには国として毅然とした対応を取るよう要望してほしい。</p> <p>→ 県も頭数調査をしており、その結果の公表と早期の対応について、県及び県議会に6市町で要望している。(町長)</p> <p>○県道(通称「おどし」付近)の工事の進捗はどうか。</p> <p>→ 県では昨年度測量を行い、今は用地買収を進めている。情報が入ったら</p>

お知らせする。(建設課長)

○総合計画の各プロジェクトはどのように進めていくのか。どの課が中心になるのか。

→ いずれかの課が中心ということではなく、各プロジェクトの関係課によるプロジェクトチームで協議しながら進める。プロジェクトチームのメンバーは課長級職員、リーダーは副町長である。(企画財政課長)

○町内に太陽光発電施設が増えており、このままでよいのかと疑問に感じている。町ではどのように考えているか。

→ 令和5年1月頃から太陽光発電を目的とした農振除外や農地転用申請が出ており、年々増加。現在までに町内の農地は約18haが太陽光発電に変わった。農業委員会では守るべき農地の地図を作り対応している。山に設置したいとの問い合わせもあり、土砂災害の危険性や景観への影響、将来的にきちんと管理されていくのかといった問題があることから、規制についても検討していく必要がある。(農政商工課長)

→ 地球環境の保全と景観の保全は対立する概念。町のスタンスははっきり決まっていない。軽米町は太陽光発電で町内のエネルギーを補うという考え。(副町長)

→ 土地利用は所有者の権利だが、蔵王のような観光地は分かりやすく、住民が反対するため規制している。景観の善し悪しは国もなかなか基準を作れない。(町長)

→ 自分の土地を使うことは憲法で定められた自由であり、町の条例で規制するとなると個人の権利を制限することとなる。一方、個人の権利は公共の福祉に反してはならないので、この規制が公共の福祉に合致すると町が判断するかどうか。町民や役場内で議論しながらそろそろ決めていかなければならない。(副町長)

○プロジェクトチームにおいて達成度を計る上でも取りまとめ役が必要では。

→ 様々な課が関わる以上、いずれかの課長をリーダーにというわけにもいかず、全体の把握という意味で私がリーダーを務め進めていく。まだ始まったばかりなので、新規事業の進め方や既存事業を進める上での工夫について調査研究を始めている。調査を踏まえ、来年度予算要求に反映し、来年度からスタートする。計画は作って終わりではなく、どこまでやったか、先進事例を取り入れどう工夫していこうとしているのかをフォローしていく。(副町長)

○公民館活動について。人口減少もあり、今までの会費では赤字が見込まれるが、高齢者が多いため値上げは難しく、活動を縮小することもできない。積極的に活動した公民館には補助をもらいたい。活動をしないで貯金することも考えている。

→ ふるさと納税の使途として団体活動支援があり、鉄砲隊も活用している。自治公民館も登録すれば、出身者が寄附をしてくれるかもしれない。(企画財政課長)

	<p>○五葉集会センターは増水時に避難所として使うことがあるので、旧式トイレを改修してもらいたい。</p> <p>→ 町が建てた建物だが、現在は自治公民館として使っているので、改修には自治公民館に対する補助制度を活用されたい。(企画財政課長)</p>
--	---

〈2〉 上有住地区公民館(10月9日(木))

来場者数	8名(男性7,女性1)
主なやり取り	<p>○自治公民館の役員になると上部団体の役職にも就かなければならない。この負担が軽くなればよいと考える。</p> <p>→ あて職については、何らかの必要性があってそうした体制になっているものと思われるため、この場でその是非を言うことはできない。(教育次長)</p> <p>○昔は青年団活動あり、歳を取ってからもそのつながりが続いている。今は地域の青年層のつながりがなくなったので、青年同士の連携ができるようになればよいと考える。</p> <p>→ スポーツ行事では集まるが地域活動となると集まらないのは、どの地区でも同じ。住田若者会議では、地域という括りも必要だが、テーマ別に開催することも考えている。若い世代が地域に関わってくれるような気持ちになるよう取り組む。(企画財政課長)</p> <p>○恵山では災害時の見守り班を組織し、歩けない人は自宅避難とする等、個別の避難方法まで決めている。しかし、町の防災訓練で参加者数となるのは避難所に集まった人数だけで、安否確認が数に含まれず残念。</p> <p>→ 意見を参考にしたい。(総務課長)</p> <p>○今住んでいる人がいなくなれば空き家になることが明らかな家もある。空き家になる前の段階で対策はできないか。</p> <p>→ 町から出向いて「今後どうするか」といった話をするのは、対象の見極めも含め難しい。住まいの相談窓口において、一人暮らしの方が空き家になる前の相談をできるよう検討する。(企画財政課長)</p> <p>○町道周辺の維持管理が、高齢化により困難になってきた。町に行ってほしい。</p> <p>→ 道路敷きが個人所有地なら個人で対応いただく。道路管理者として行うのは倒木撤去や草刈りで、運行の支障となるものが対象。災害防止の観点での法面管理は現場を見て検討することとなる。(建設課長)</p> <p>○有中があった頃は、生徒が歩いていて挨拶が交わされたが、生徒がいなくなると大人も暗くなったように感じる。また人の声が聞こえるように旧中学校を活用できないか。意欲のある若者を呼んでほしい。</p> <p>→ 役場内で活用方法を検討している。問題は老朽化。他の事例では築30年程の校舎を活用しているが、旧有中は50年が経過。解体も視野に入れ検討。(総務課長)</p> <p>○住田は隣接市が全て通勤圏内で、地理的に便利な位置にあると言えるのでは。</p>

	<p>→ 移住相談窓口で、海にも内陸にも新幹線駅にも近いとPRしている。今後道路がさらに良くなるので、地理的な優位性を町づくりに生かしていく。(企画財政課長)</p> <p>→ 東京では1,2時間の通勤は当たり前。1時間あれば住田から北上まで通勤できるのに、若者に「帰ってきてても仕事がない」と言ってしまう傾向がある。地域を否定せず新たなアイデアを出してほしい。(町長)</p> <p>○若者の野菜摂取量を増やすことについて、どのようなアプローチを考えているか。</p> <p>→ 住高生に摂取量調査を実施した。働いている世代向けとして、町内企業への提案を考えている。(保健福祉課長)</p> <p>○将来的にヘルパーの不足が見込まれるが、今から対策は。</p> <p>→ 必要な人材の育成には事業者にもがんばってもらう必要があり、事業者と一緒に考え進めていく。(保健福祉課長)</p> <p>○自治公民館活動のスリム化の話があったが、これ以上効率化できるものはないと考えている。例えば敬老会を合同で行うようなことか。</p> <p>→ 年間行事をリスト化して、まとめてよいもの、1年おきにしてよいものを検討する等、地域で話し合いをしてほしい。(教育次長)</p> <p>○自治公民館のトイレや屋根の改修が続いた上、会費収入が減り、予算のひっ迫を心配している。</p> <p>→ アンケート結果では、活動せずにお金豊富にある自治公民館と、活動が活発でお金が足りないところの二極化。それぞれに合った補助金を出せる仕組みを検討したい。(教育次長)</p> <p>○町指定の避難所への避難に際し、川を渡る必要があり、危険との意見が出ている。自治公民館も危険エリアに入っている。</p> <p>→ 地域のことは地域の方々熟知しているので、日頃から話し合える体制を設けてほしい。全て役場で対応することはできないので、初動体制の部分でも防災士の養成が必要。希望があれば研修会を実施する。(総務課長)</p>
--	---

〈3〉 下有住地区公民館(10月10日(金))

来場者数	13名(男性10,女性3)
主なやり取り	<p>○旧下小のグラウンドは、芝生化が決まっていたが、管理について町と折り合わず白紙になった。それ以降、グラウンドの活用方法を地域で考えるよう言われているが、町では何も考えていないとの印象を受けている。町でも早急に対応を検討してほしい。</p> <p>→ 校舎は築72年で老朽化が激しく、解体の方向で検討中。グラウンドは役場内でも意見交換をしているが結論は出ていない。方向性が出たら説明に伺う。(総務課長)</p> <p>○少子化等により税収が減っていく。総合計画を進めていくに当たり財政面は大丈夫か。</p> <p>→ 町税の大半を占める固定資産税は見通しが立てやすいが、所得に対する</p>

- 課税は、人口が減っても経済情勢次第で増えることもあり、推計は難しい。また、町税が減っても、国の税収が増えれば地方交付税として補填される仕組みもある。現在の厳しめの推計では、10年以内に収支が赤字になる見通しなので、歳出を引き締めていきたい。(企画財政課長)
- 住田の中心の下有住に小中一貫校を建てれば、スクールバスの台数を減らすことができる。
    - 大槌学園のように小中が一緒になると、中3と小1の子供が一緒に活動するため、小学校用と中学校用の体育館やかなり広い校庭が必要になる。普代村でも小中一貫を始めたが、面積は住田の1/5程。住田は広いので、世田米と有住のどちらかに集めれば問題も出てくる。内々で検討しているが結論は出ていない。(教育長)
  - 町民ホールの音響が聞こえづらいので改善してほしい。
    - 専門業者に発注し調査中。改修方法を検討し予算化の予定。(総務課長)
  - 町民ホールの音響は、施工業者に見てもらってはどうか。
    - 完成し引き渡しを受けたものなので、施工業者に対応してもらうのは難しい。(企画財政課長)
  - ふれあい広場の小便器が大人用しかなく子供が使いづらいので改善してほしい。議員懇談会でも何度も言っている。木の台を置いたこともあるが、危険なので撤去したと聞く。
    - 保育園児や親子連れが多く利用しているが、これまでそうした苦情はなかった。現地を確認し直せば改修する(教育次長)
  - 太陽光発電施設が増えていることに対し、町の考えは。
    - ※五葉と同様の説明。(農政商工課長)
  - 高齢者のスポーツは健康促進になっている。サポートする気はないか。
    - 健康になることに加え、コミュニケーションが精神的な安定にも繋がるということで、スポーツ振興は進めたい。スポーツをして健康になるのはその通りだが見返りは考えていない。施設や備品への要望があればスポーツの振興の一環として整備の必要があると考える。(教育次長)
  - 公共交通において、住民の共助による移動はどのように考えているか。
    - 地区単位での公共ライドシェアを想定し、立ち上げの手続きや財政面の支援を考えている。(住民税務課長)
  - 住田への移住者の数、住田に移住したが帰った人の数、帰った場合の理由を把握しているか。それを調査することで住田の欠点が見える。
    - 移住相談の件数は、10年以上前には年間100人程あったが、去年の実績では2,30人程。都会からの移住ムードは高まっているが、住田にはあまり問い合わせが寄せられていない。また、移住の担当者が、移住後も移住者とコンタクトを取り続けるわけではない。転入・転出届の際にアンケートを取っていたこともあるが、届け出が集中する3,4月に窓口での待ち時間が長くなってしまったため、今は行っていない。(企画財政課長)
  - 町道高瀬小畑線の舗装工事が途中までで止まり、今は他の路線が優先されて

	<p>いるようだ。できれば残りも舗装してほしい。</p> <p>→ 当初計画から変更があり、舗装するのは住宅までの区間となった。今のところ予定はない。砂利を敷いて車が通れる状態を維持する。(建設課長)</p> <p>○蕨峠に遠野行きの標識が出ている。消した方がよい。</p> <p>→ 道路管理者の県に伝える。(建設課長)</p> <p>○家の向かいに危険空き家がある。戸が倒れ、動物が入っている。こうした空き家は誰が面倒を見るのか。</p> <p>→ 基本的には所有者が管理するものなので、町が所有者を調査し働きかける。こうした情報提供があれば所有者を確認しアプローチしている。今年度全棟調査を行い、どうしていくかはこれから検討。(住民税務課長)</p>
--	--

〈4〉大股地区公民館(10月14日(火))

来場者数	7名(男性5,女性2)
主なやり取り	<p>○小股でアライグマが増えている。全国的には被害が増えているが住田ではまだ有害鳥獣に指定されていない。指定の見込みは。</p> <p>→ 現状ではアライグマによる被害の相談がない。分析し然るべき対応をとる。(林政課長)</p> <p>○豚舎付近の川が泡だらけになっていたの、県に問い合わせたところ、検査では異常なしとの回答。アユが戻ってくる状態ではない。</p> <p>→ 町と県が検査をしている箇所は、いずれも検査結果に異常がない。現状を把握し、対応を要すれば対応する。(住民税務課長)</p> <p>○簡水の区域であれば接続すればよいが、自家水道の地区では、補助金をもらっても整備に数十万円かかり、高齢者には厳しい。シカの増加により水を飲めなくなった所もある。</p> <p>→ 簡水も接続費用がかかり、無料というわけではない点にご理解を。簡水と自家水道で負担に差が生じないように、補助制度の再検討は必要と考える。(建設課長)</p> <p>○野菜を作ってもほとんどが動物に食べられる。耕作を続けているのは補助金で電気柵を設置した人だけ。補助がないと高齢者が耕作をしなくなる。耕作を高齢者の健康対策や医療費対策という観点で支援しては。</p> <p>→ イノシシ被害が増えていると認識。防護網の補助は、国庫なら10/10だが制約がある。町単であれば、農林業振興会経由だが個人単位で1/2補助を受けられる。ここ数年予算も増やしている。自己負担はあるが活用してほしい。(農政商工課長)</p> <p>○県道世田米矢作線の大股郵便局から数十mの所で、道路に木が覆いかぶさり通行に支障が出ている。町から県に伝えてもらえるか。</p> <p>→ 県道の異常でも、建設課に連絡をいただければ、現場を確認し、通行に支障がある場合は県に伝える。道路の異常を発見したら建設課に情報提供を。(建設課長)</p> <p>○大股に町職員がいなくなった。各地区から町職員を採用してほしい。</p>

	<p>→ 近年、町内の方の申込みが減少。自治体職員の確保が難しいのは全国同様。大股にどなたかよい人がいれば、受験するよう声かけをお願いしたい。(総務課長)</p> <p>○中井地区で民生委員のなり手がいない状況。小股、大股、中井から一人ということにしてもらえないと、これから大変。</p> <p>→ 他にも同様の地域が増えてきた。地区割の変更等、体制の見直しは皆さんと相談しながら検討したい。(保健福祉課長)</p> <p>○津付トンネルを出たカーブで支障木により見通しが悪い箇所がある。道路維持業者が切ったが不十分。勝手に切ってもよいか。</p> <p>→ 道路管理者が対応する。(建設課長)</p> <p>○家の前の防火水槽のコンクリートのフタが老朽化し、骨が見えている。何回言っても対応してもらえない。</p> <p>→ 点検で危険と判断したものは対応している。追って確認する。(総務課長)</p>
--	--

〈5〉住田町役場(10月15日(水))

来場者数	9名(男性6,女性3)
主なやり取り	<p>○これまでも鳥獣害対策をやってきたが、これを充実させるというのは、何をやってもらえるのか。</p> <p>→ シカに加えサル、イノシシが増加しており、地域ぐるみの対策が重要。町単補助の見直しをしている。被害を軽減できるよう皆さんと一緒に考えたい。(農政商工課長)</p> <p>○県がサルを保護しているそうだが、害を与える種として解除できないのか。</p> <p>→ 町民が被害を受けていることを訴え、保護の解除を要望している。(林政課長)</p> <p>○森林認証に取組み20年が経過。認証取得にはお金がかかるが、木材は一般材として流通。認証材、認証商品、認証建築と発展できないか。小規模でもいいから、商品が並ぶようにできないか。</p> <p>→ 森林認証の取組みにおいて、目に見えるような流通や出荷の実績は作れていないが、認証材の引き合いは増えている。森林組合と連携し実績を積み上げていく。(林政課長)</p> <p>○防災マップに警戒レベルごとの避難先を示してほしい。</p> <p>→ マップは一度作れば終わりということではなく、更新していくもの。皆さんと一緒に作っていききたい。(総務課長)</p> <p>○デマンド交通の使い方を教えてほしい。</p> <p>→ ※適宜説明(住民税務課長)</p> <p>○教育は人数が多い中で行う方がよい。小学校の統合を早くやるべき。小中の施設を町の中心一箇所にまとめればよい。</p> <p>→ 令和3年の町教育振興審議会で、中学校はすぐに統合、小学校は時期を見て統合、と決まった。小学校の統合時期は出生数を見ながら検討してい</p>

る。小中一貫校、義務教育学校は現在増えているが、中3と小1が同じ体育館やグラウンドで活動すればトラブルが起きるため、検討を要する。(教育次長)

○若者が働けるように農林業の振興をしてほしい。

→ 若者が農業をやりたいと思うような政策を、皆さんと知恵を出し合いが  
んばりたい。(農政商工課長)

→ 総合計画は各分野の方向性を定めるもので、細かい具体的な内容までは  
定めていない。農業、林業には部門別計画があるので、そちらにもご意見  
をいただきたい。(企画財政課長)

○雇用期間終了後に次の仕事がなく転出する人もいる。人口減少対策として、  
町内の人を転出させないことが大事。言葉遊びではなく本当にやってもらい  
たい。

→ 今決定的な妙案は出ない。計画で定めた取組みを通して考えていく。(企  
画財政課長)

→ 盆正月に都市部から帰ってきた子供が「地元で暮らそうか」と言っても、  
家族からは「帰ってきてても仕事がない」と言われるようだ。実際には有効  
求人倍率は高く、仕事がないわけではない。適正な情報発信に努めるので、  
ご協力いただきたい。(町長)

→ 言葉遊びでやっているつもりはない。転出を減少させるために、一つは  
産業づくり。地域で考え、付加価値を付け仕事を増やす。もう一つは、皆  
がこの町はいい町だと思ってくれること。そういう中で育てば、この町に  
戻りたいと思うようになる。総合計画はそうしたことを凝縮し方向付けて  
いる。前計画ではなかなかフォローができていなかったが、本計画の、特  
にプロジェクトは、各課が何をやってどういう成果が出ているか、どこが  
足りないか、次の年は何をやるか、きちんとフォローする。そして、様々  
な場面で進捗状況を町民に説明し、議論しながらみんなで進めていく。こ  
うしたことが、いい町に住んでいるという実感につながり、転出防止につ  
ながると思う。(副町長)

→ 改めてお願いしたいのは前向きな議論。前向きな議論は外部の人からも  
共感され、批判だけでは嫌がられる。知恵を出し合い、解決するための方  
法を確認し合うような関係性を。人口減少は今後50年は止まらない。地域  
ぐるみで知恵の出し合いが必要。ぜひ協力をお願いしたい。(町長)

○町外から仕事で町内に通っている。町外にいるときに町の状況が分かるよ  
う、防災無線やテレビの情報を、ネットやメールで配信してほしい。

→ 住田テレビはユーチューブで、防災無線はフェイスブックで、一部配信  
している。重要な情報がきちんと届けられるよう考えていく。(企画財政  
課長)

○F S C 森林認証を取得している5自治体でネットワークを作っているとの  
記事を見た。今の取組みや今後の方向性を知りたい。

→ 5 trees netでは、それぞれの弱みを補完し合い市場の競争に打って出

られないか、情報交換をしているところ。東京の市場等でPR活動をしている。(林政課長)